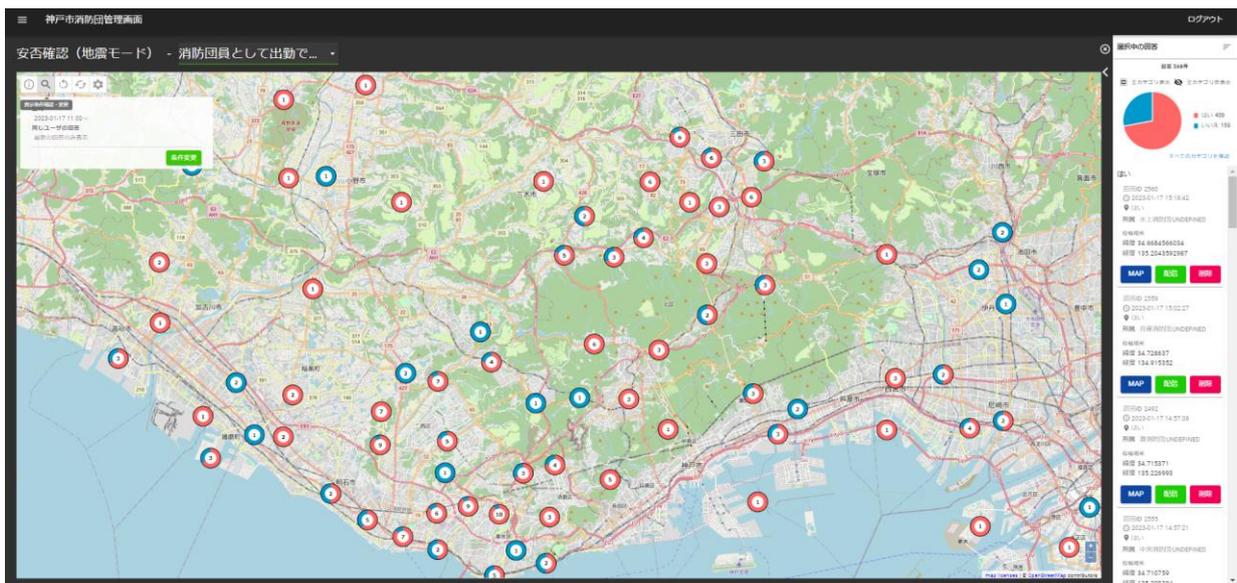
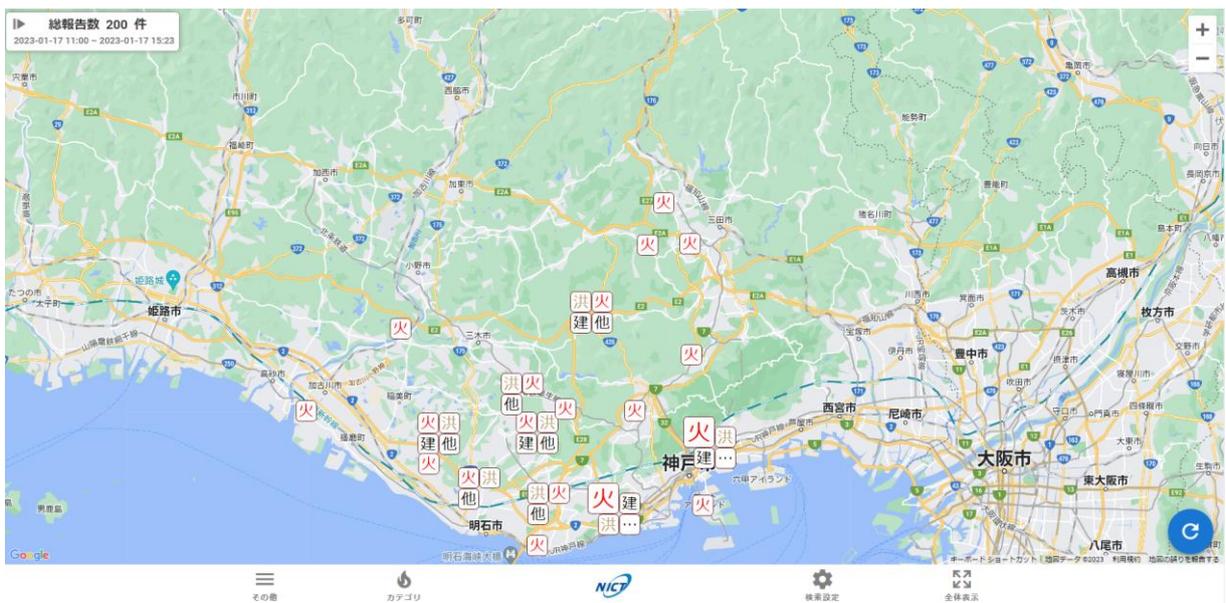


「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

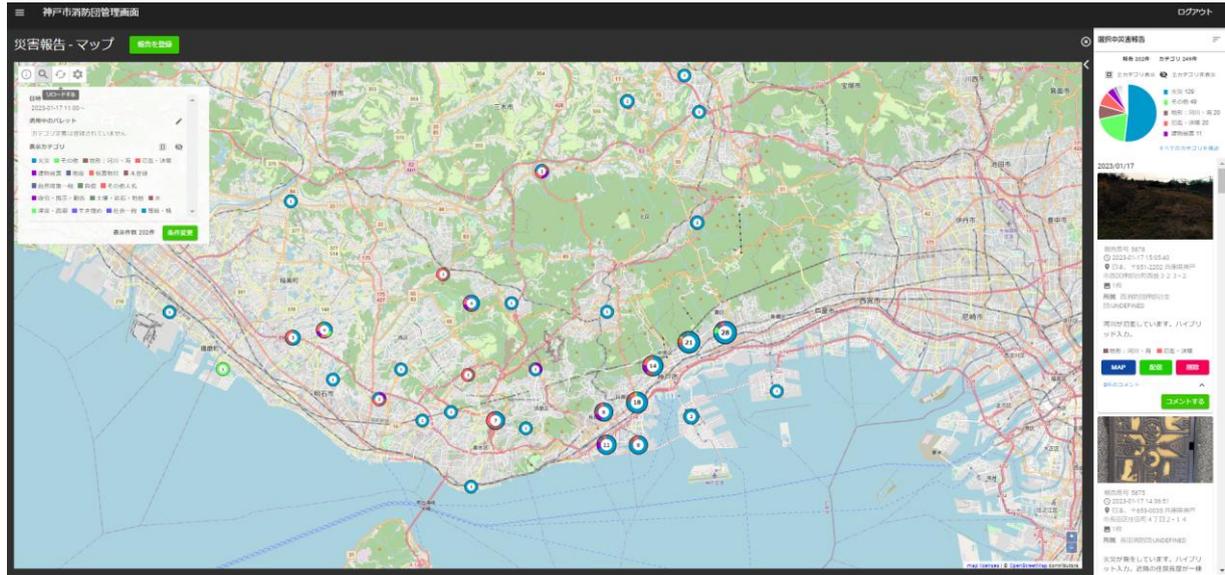
NO.	71	地方公共 団体名	兵庫県神戸市	消防団名	神戸市の10消防団
担当課	消防局警防部 消防団支援課		連絡先	Tel 078-322-5748 E-mail fb_dan@office.city.kobe.lg.jp	
事業名	消防団のAIを用いたICT化(消防団スマート情報システムの導入)				
事業詳細	<p>○ 事業の目的・必要性</p> <p>【目的】 台風や地震等の自然災害時の早期の情報共有と安全管理(危険情報の発信・安否確認)</p> <p>【必要性】 台風や地震等の自然災害は大規模になるほど早期の災害情報の共有が困難になります。その課題を、防災チャットボット(AI)と多数の方が利用している無料通信アプリLINEにより解決します。</p> <p>○ 事業内容</p> <p>「消防団スマート情報システム」は、地震や豪雨などの災害発生時、消防団員がスマートフォンの無料通信アプリ「LINE(ライン)」や人工知能(AI)を活用して、災害現場で把握した災害情報をリアルタイムで共有できるシステムです。</p> <p>災害発生時には、消防団員に防災チャットボット(自動応答コンピュータプログラム)から災害状況を報告するようメッセージが送られ、消防団員は、自らの位置情報と災害状況写真、文章を送信。送られた情報は人工知能(AI)により集約され、アプリの地図上で、消防本部や消防団員が確認できます。</p> <p>さらに、安否確認機能の活用により、災害発生後に消防団員の安否情報や出勤可否等を把握したうえで、災害対応にあたることができます。</p> <p>このシステムの活用により早期に災害の全体像を把握でき、効率的な災害活動に活かされるとともに、災害現場の最前線で活動する消防団員の安全管理が飛躍的に向上します。</p>				



安否状況報告集約画面(操作研修時)



災害報告集約画面(操作研修時・AI防災協議会)



災害報告集約画面 (操作研修時・株式会社ウェザーニューズ)

○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
訓練参加者	人数	500 人	568 回	
検討会・打ち合わせ	回数	24 回	2 回	面前での検討会・打ち合わせに代えて、メールや電話等で適宜、綿密な調整を行った。

○ 事業成果

早期の災害情報の共有及び消防団員の安否情報等の確認が可能であり、期待される効果を得ることができた。今後は研修等を通じてさらに操作習熟を図るとともに、団員の意見も参考としながら、よりよいシステムに発展させていきたい。

その他参考
情報

※URL の記載などをお願いします。